一般科目教室(1~2年)

	本科(準学士課程)											
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年					
RA 多様な文化や 価値観を認識	1	人間社会の組 本理解は、 を理域の・ を地域で・ を を を を を を を を を を を を を を を で の の に の に の に の に の に の に の に の に の に	歷史 I 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論					
価値観を認識できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を,認識・理解する意識を持てる.	音楽	美術								
RB	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 Ⅱ	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講					
数学とその他 のおよび専門るも のづくりに能け を身におけ、電関力 を身にも る。	2	専門分野における様に基づいて情報を処理し、正しく理解できる.	専門基礎 I 専門基礎Ⅲ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科 目:座学, 製図 等)	(各学科専門科 目:座学, 製図 等)	日本語Ⅱ (各学科専門科 目:座学, 製図 等)	工学倫理 (各学科専門科 目:座学, 製図 等)					
	1	英語による基 礎的な対話や 文章が理解で き,自分の意見 を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語皿	英語IV	英語V 英語特講					
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章を整めて、 の文品解・鑑の の文品解・鑑の の思い切いに の思いの談話でき、主日本文るの表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究					

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必要 なデザインマ インドを身に 付ける.	1	課題に対して 自主発見し、求 財団を発見を探察を 方問のできる。 記載できる。			(工学演習, 工学 実験, 創成科目 等)	(創成科目等)	
	1	実験・調査通知を ない と が は と の て が は と の と が で が で は と な と が で きる .				(工学演習, 工学 実験等)	(工学演習, 工学 実験等)
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理たし、法験遂をる結に、 までは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、					卒業研究
	3	身ポる力た能目個グ題ス 体一知をめ力にをあって (ではと) (では) (でする) (です。) (です。) (です。) (です。) ((() (() () () () () () ()	保健体育I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

一般科目

各学科共通

谷字	科共									ī
			224 /			学 年	三別	配当		
	授	業科目	単位 種別	単位数	1	2	3	4	5	備考
			性力リ		车	年	年	年	年	
		国語 I		2	2	·		·		
	一一	国語Ⅱ		2	4	2		 	 	
	国語					∠	0			
	пП	国語Ⅲ		2			2		!	留学生は対象外
		国語表現		2				2		
		公共社会 I		2		2		ļ	ļ	
		公共社会Ⅱ		1			1			留学生は対象外
	社	公共社会Ⅲ		1			1			田 1 王(3)(30)
	会	歴史 I		2	2					
		歴史Ⅱ		2		2				
		地理		2	2					
		基礎解析A		4	4					
		基礎解析B		3	3					
	数	解析I		4	0	4				
	· 数	線形代数								
	7			2		2				
	解析Ⅱ 解析Ⅲ		-	3			3			
			В	2				2	ļ	
必		物理基礎		2	2			ļ	ļ	
修						3				
科	科	化学 I		2	2					
目	47	化学Ⅱ		2		2	_			
		生物		1	1					
	保	保健体育 I		4	4					
	健	保健体育Ⅱ		2		2				
	体	保健体育Ⅲ		2			2			
	育	生涯スポーツ実習		2				2		
						1				
	芸術	美術		1		1				
	7/11	音楽		1	1					
		英語 I		4	4					
		コミュニケーション		2	2					
	外	英語Ⅱ		4		4				
	玉	英語Ⅲ		4			4			
	語	英語IV	В	2				2		
		英語V	В	2					2	
		第2外国語 I		2				2		留学生は対象外
		工学倫理		1					1	田丁工成为家外
		修得単位計			20	9.4	19	10	3	
	55			79	29	24	13	10		
		2外国語Ⅱ		1				-	1	
		2外国語Ⅲ		1				ļ	1	
		語文化特講		1					1	
選		本語表現演習		1				ļ	1	
択心		本文学論		1					1	2単位以上
必修	哲'	学		1					1	修得すること
科	歴	史学特講		1					1	
目		学特講		1					1	1
		語特講		1				 	1	
		大学等科目(一般)		1					1	
	(E)	修得単位計		2以上				 	2以上	
$\vdash \vdash$				4以上		 		 	2以上	
	(修 得 単 位 合 計 卒業認定必要単位数)		81以上	29	24	13	10	5以上	
	(-	十未吣足少女牛也效/		<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>	l I
外	国人	留学生修得单(立 計	73以上	29	24	9	6	5以上	
<u> </u>			1					ļ	ļ	
p-+-		本語 I		2			2	ļ	ļ	
(特 必設		本語Ⅱ		2				2		
必 段	科 基礎数字					<u> </u>	2			留学生のみ対象
	基	礎物理	2			2				
		修得単位計	8			6	2			
	外国	人留学生 修得単位合計	01.01.1	00	0.7	1.5		EDLI		
		卒業認定必要単位数)		81以上	29	24	15	8	5以上	
									1	

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。₃(実験、実習のみ可)

一般科目学科授業科目系統図 (1~2年) 2年 4年 学習·教育目標 前期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 前期 後期 歴史学特講* 歴史 I 歴史Ⅱ 地理 音楽 公共社会I 公共社会Ⅱ,Ⅲ 哲学* 多様な文化や価 がなるにで価値観を認識できる 能力を身に付ける。 美術 第2外国語 I 第2外国語Ⅱ,Ⅲ* 言語文化特講* 日本文学論* 基礎解析A 解析Ⅱ 解析Ⅲ 数学特講* 基礎解析B 線形代数 数理統計学 応用数学 応用物理Ⅱ 物理基礎 物理 応用物理I 化学Ⅱ 化学 I 数学とその他の自 然科学, および専 生物 門分野におけるものづくり, 環境づく 工学倫理 りに関する基礎能 力を身に付ける. 基礎数学 基礎物理 日本語Ⅱ 英語I 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 国際社会で活躍 コミュニケーション 英語特講* するためのコミュ ニケーション基礎 国語I 国語Ⅱ 国語Ⅲ 国語表現 日本語表現演習* 能力を身に付け 日本語 I 技術者に必要なデ ザインマインドを 身に付ける. 保健体育I 保健体育Ⅱ 保健体育Ⅲ 生涯スポーツ実習 実践的能力と論理 的思考能力をを身

*:選択必修科目

に付ける.

一般科目教室(3~5年)

				 科(準学士課	 程)	אלין דון אלין	
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や 価値観を認識	1	人本を理地域やどの的に を担けないにできるでは、 はないでは、 とはないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 とはないでは、 はないでは、 はない。 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないとは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。	歴史 I 地理 I 地理 II	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会 II 公共社会 II	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
できる能力を身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根をした認 識・理解する。 識を持てる。	音楽	美術			
RB	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
数学とその他の 学とその 学とその 学とを 科明で がする がする がする ががる 基に付い ががる 基に付い がいる を はいがいる でがる を はいがいがる はいがいがる はいがいがる はいがいがる はいがいがる はいがいがる はいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	2	専門分野における様に基づいてし、正しく を主と、 ををのできる。	専門基礎 I 専門基礎Ⅲ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科 目:座学, 製図 等)	(各学科専門科 目:座学, 製図 等)	日本語 II (各学科専門科 目:座学, 製図 等)	工学倫理 (各学科専門科 目:座学, 製図 等)
	1	英語による基 礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見 を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語皿	英語IV	英語V 英語特講
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける.	2	日本語に理解・鑑の 文品解・発言に理自・発言に理自張本文 の 思 の で 表 説 の で 表 ま で き 、 主 日 や で い 切 談 現 で き 、 ま で き る .	国語 I	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必要 なデザインマ インドを身に 付ける.	1	課題に対して 自主発見し、求 財団を発見を探察を 方問のできる。 記載できる。			(工学演習, 工学 実験, 創成科目 等)	(創成科目等)	
	1	実験・調査通知を ない と が は と の て が は と の と が で が で は と な と が で きる .				(工学演習, 工学 実験等)	(工学演習, 工学 実験等)
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理たし、法験遂をる結に、 までは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、					卒業研究
	3	身ポる力た能目個グ題ス 体一知をめ力にをあって (ではと) (では) (でする) (です。) (です。) (です。) (です。) ((() (() () () () () () ()	保健体育I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

一般科目

各学科共通

接	各学	科共	通								
国語				出任			学 年	别	配当		
日野日 2 2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4		授	業科目		単位数						備考
国語田				12/3 3		年	年	年	年	年	
国語田			国語 I		2	2					
語 国語田 2 2 2 2 2 3 3		玉			2		2				
国語表現								2			図学生け対象
公共社会 2									2		
全大社会目							9				. ,
社会 歴史1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1				1		1	四半年上上
世史日 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
金		社						1			75
担理日						2					
地理日							2				
基礎解析A					1	1					
基礎解析日 3 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5			地理Ⅱ		1	1					
##			基礎解析A		4	4					
##			基礎解析B		3	3					
学 線形代数 2 2 3 3 3 3 2 9 9 4		数			4		4				
#新田		学									
Part				†				ર		†	
砂理基礎				D				J	0	1	
##	必			R		6			Z		
野田 村谷	修			—		2				-	
日		班					3				
化学日					2	2					
保健体育 I		''			2		2				
保健体育 I			生物		1	1					
保健体育II		/早.			4	4					
作							2				
育 生涯スポーツ実習 2 2 芸術術 1 1 1 百楽 1 1 1 英語 I 4 4 4 京話 I 4 4 4 英語 II 4 4 4 英語 II 4 4 4 英語 V B 2 2 第2 外国語 II 1 1 1 第2 外国語 II 1 1 1 音話文化特講 1 1 1 1 日本 本文学論 1 1 1 2 2 2 4 基礎 学生 管籍 II 1 1 1 1 4 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td>								9			
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き								2	0		
新											
英語 I 4 4 4 「スェケーション 2 2 英語 II 4 4 4 英語 II 4 4 4 英語 IV B 2 英語 V B 2 英語 V B 2 第 2 外国語 II 1 1 0 3 第 2 外国語 III 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1				
外国語 英語II 4 4 4 英語IV B 2 2 英語V B 2 2 第2外国語I 2 2 2 第2外国語II 1 1 1 第2外国語II 1 1 1 言語文化特講 1 1 1 日本語表現演習 1 1 1 日本語表現演習 1 1 1 歴史学特講 1 1 1 大野時講 1 1 1 大野特講 1 1 1 大野特講 1 1 1 大野特講 1 1 1 大野特講 1 1 1 大野神講 1 2 2 大野神講 1 2 2 大野神講 1 2 2 大学等科目 2 2 2 大学等科目 2 2 2 大学等社会 2 2		11时									
外国語 英語II 4 4 4 英語IV B 2 2 英語V B 2 2 留学生は対象を 選問 第2外国語II 1 1 1 1 第2外国語II 1 1 1 1 第2外国語III 1 1 1 1 1 日本語表現演習 1 1 1 2 日本語文学論 1 1 1 2 歴史学特講 1 1 1 6得すること 歴史学特講 1 1 1 1 英語特講 1 1 1 1 他大学等科目(一般) 1 1 1 1 修得単位合計 2以上 2 2 2 (李業認定必要単位数) 81以上 29 24 9 6 5以上 (特し公設修料) 日本語I 2 2 2 2 基礎数学 2 2 2 2 2 基礎数学 2 2 2 2 2 基礎教学 2 2 2 2 2 基礎教学 2 2 2 2 2 基礎教学 2 2 2 2 <td></td> <td></td> <td>英語 I</td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>			英語 I		4	4					
国語 英語IV B 2 2 2 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 5 5 5			コミュニケーション		2	2					
国語		外	英語Ⅱ		4		4				
語 英語V B 2 英語V B 2 第2外国語I 2 2 選出			英語Ⅲ		4			4			
英語V B 2 2 留学生は対象が 選出		語		В	2				2		
第2外国語I 2 2 留学生は対象を 第2外国語II 1 1 1 1 1 第2外国語II 1 1 1 1 第2外国語II 1 1 1 1 音語文化特講 1 1 1 1 日本主張現演習 1 1 1 2 2単位以上 修科 1 1 1 6 6 7 2 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td>										2	
T学倫理				ь					9		の学生は対象が
 修得単位計 79 29 24 13 10 3 第2外国語Ⅲ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1					- 4	1	田子工は別家バ
第2外国語II 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						00	0.4	10	10	-	
第2外国語Ⅲ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		£s£a				29	24	13	10		
言語文化特講											
選択 日本語表現演習 1 1 2単位以上 哲学 1 1 2単位以上 哲学 1 1 1 歴史学特講 1 1 1 英語特講 1 1 1 他大学等科目(一般) 1 1 1 修 得 単 位 計 2以上 2以上 2以上 外国人留学生修得単位計 73以上 29 24 9 6 5以上 日本語I 2 2 2 2 基礎数学 2 2 2 2 基礎物理 2 2 2 2 修 得 単 位 計 8 6 2 外国人留学生修得単位合計 8 6 2 外国人留学生修得単位合計 8 6 2					1					1	
日本文学論		言	語文化特講		1					1	
Yellow 1		日	本語表現演習		1					1	
世 哲学		日:	本文学論		1					1	2単位以上
歴史学特講 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1						-	
数学特講										-	
英語特講 (他大学等科目(一般) 1 1 修得単位計 (容業認定必要単位数) 81以上 29 24 13 10 5以上 外国人留学生修得単位計 (2) 22 日本語 I (公設 養 養 養) 2 基礎数学 (2) 2 基礎物理 (2) 2 外国人留学生修得単位合計 (2) 2 外国人留学生修得単位合計 (2) 2 (2) 2 (3) 2 (4) 2 (5) 2 (6) 4 (6) 4 (6) 4 (6) 4 (6) 4 (7) 4 (7) 5 (8) 6				†							
他大学等科目(一般)	П			1						ł — —	
修得単位計 2以上 2以上 6 得単位合計 73以上 29 24 13 10 5以上 7 3以上 29 24 13 10 5以上 7 3以上 29 24 9 6 5以上 8 1以上 29 24 9 6 5以上 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				-							
修得単位合計 (卒業認定必要単位数) 81以上 29 24 13 10 5以上 外国人留学生修得単位計 73以上 29 24 9 6 5以上 日本語I (特別) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1世)					ļ				
(卒業認定必要単位数) 81以上 29 24 13 10 5以上 外国人留学生修得単位計 73以上 29 24 9 6 5以上 日本語II 2 2 2 上遊数学 2 2 2 基礎数学 2 2 2 基礎物理 2 2 2 修得単位計 8 6 2 外国人留学生修得単位合計 91以上 20 24 15 9 5以上	igsquare				2以上					2以上	
日本語 I 2 2 (特 日本語 I 2 2 日本語 I 2 2 基礎数学 2 2 基礎物理 2 2 修 得 単 位 計 8 6 2 外国人留学生 修得単位合計 21 以 上 20 24 15 2 5 以 上		(81以上	29	24	13	10	5以上	
(特 日本語Ⅱ 2 2 遊談 修科 目 2 2 基礎数学 2 2 基礎物理 2 2 修得単位計 8 6 2 外国人留学生 修得単位合計 21以上、20、24、15、2、5以上	外	国人	、留学生修得単	位 計	73以上	29	24	9	6	5以上	
必設修科 修科 目 基礎数学 2 2 2 2 2 2 8 3 8 6 2		且	本語 I	L	2			2			
修科 基礎数字 2 2 \$ 基礎物理 2 2 修得単位計 8 6 2 外国人留学生 修得単位合計 2171 k 20 24 15 2 571 k		30 H 7 1 1 1 1 1			2				2		ETPAL & T. L.
基礎物理 2 2 修得単位計 8 6 2 外国人留学生 修得単位合計 2101 km 20 24 15 2 501 km		設						2		1	
修 得 単 位 計 8 6 2 外国人留学生 修得単位合計 91 PL 90 24 15 9 5 PL 9		5 AT									
外国人留学生 修得単位合計 9101 と 90 94 15 9 501 と	Д	<u> </u>						9	†		
		ᆈᅜ					J	4			
<u> </u>				· · ·	81以上	29	24	15	8	5以上	

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。₇(実験、実習のみ可)

一般科目学科授業科目系統図 (3~5年) 4年 2年 学習·教育目標 前期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 前期 後期 歴史学特講* 歴史 I 歴史Ⅱ 地理Ⅰ,Ⅱ 音楽 多様な文化や価値観を認識できる 能力を身に付ける. 公共社会I 公共社会Ⅱ,Ⅲ 哲学* 美術 第2外国語 I 第2外国語Ⅱ,Ⅲ* 言語文化特講* 日本文学論* 基礎解析A 解析Ⅱ 解析Ⅲ 数学特講* 基礎解析B 線形代数 数理統計学 応用数学 応用物理Ⅱ 物理基礎 物理 応用物理I 化学Ⅱ 化学 I 数学とその他の自 然科学, および専 生物 門分野におけるものづくり, 環境づく 工学倫理 りに関する基礎能 力を身に付ける. 基礎数学 基礎物理 日本語Ⅱ 英語I 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 国際社会で活躍 コミュニケーション 英語特講* するためのコミュ ニケーション基礎 国語I 国語Ⅱ 国語Ⅲ 国語表現 日本語表現演習* 能力を身に付け 日本語 I 技術者に必要なデ ザインマインドを 身に付ける. 保健体育I 保健体育Ⅱ 保健体育Ⅲ 生涯スポーツ実習 実践的能力と論理 的思考能力をを身 に付ける. *:選択必修科目

機械工学科(1~2年)

	本科(準学士課程) ***********************************										
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年				
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様語や歴史・伝統多の文化を多面的に認識できる。	歴史 I 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会 Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論				
価値観を認識 できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術							
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講				
RB 数学自びおりの境する身の他の学分も環関力を を を を を を を を を を を を を を の で う で う の う を と に う で う り り に う で り り に り に り に り に り に り に り に り と り と り	2	専門分野における基準をはません。 はでは、大橋、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のできる。	専門基礎 I 専門基礎Ⅲ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法 I 材料学 I 機械工作実習 I 機械製図	で機材材流電状機でででででででででででです。 では、	日機材工機流熱電ン設デスを設力力学単で学学学図サース入門は対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	機 ・シ材振振自自 Cボーアン端 盤 ・学計料体熱機・カエエ制制・シェグ材子計災 に算科機工機・カエエ制制・シェグ材子計災 に算科機工関工学学学御御ACスン基料・ エ ・サージ・サージ・サージ・サージ・サージ・サー エ ・サージ・サージ・サージ・サージ・サージ・サージ・サービー・サービー・サービー・				
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見 を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語 V 英語特講				

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付ける。	2	日本語の文章 や言語作品を 的でき、自分の 思いや主張を 適切話や文 の談話できる。 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求して 問題解決能力 の重要性を認 識できる.			メカトロニクス実 習	知能機械演習プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験 I	機械工学実験Ⅱ
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理知知道とは という はいます という できます できます できます できます できます できまり できまり できまり いい はい					卒業研究
	3	身体・健には 知識と 神一ツと は は は は は は は は は は は は に な い に さ む に さ む に む い こ む い に む む い に む む い こ む し に し し し し し し し し し し で し し で し し で し で	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目 機械工学科

数応応に	授 業 科 目								4
	0 A 11 B	単位 種別	単位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備考
	数理統計学		2			2			
	応用数学	В	2				2		1
専門甲門 「中門 「中門 「中門 「日本	応用物理 I		2			2			
専門甲門 「中門 「中門 「中門 「日本	応用物理Ⅱ	В	2				2		
専門 C言機材料 Cご言機材料 核材料 核材料 機材 核材料 機材 技術 機材 (日本) (日本) <	専門基礎 I		2	2					
C言言機材料 機材料 機材料 機材料 機材料 機材 機材 機材 機材 機材 (C) (機材料) (E)	専門基礎Ⅱ		2	2					
C:機材料料機材料 核材料 核材料 核材料 機材料料 核材料 機材料料 機材料料 機材料料 機機 1個 20 20 20 30 30 40	専門基礎Ⅲ		2	2					
C:機材料料機材料 核材料 核材料 核材料 機材料料 核材料 機材料料 機材料料 機材料料 機機 1個 20 20 20 30 30 40	C言語基礎	1	1		1				
機様 様様 様様 様様 様様 様様 様様 様様	C言語応用		1			1			
	機械計算力学		1			-		1	1
	材料学I		1		1				
機機材	材料学Ⅱ		2		-	2			1
機材	機械工作法 I		2		2				1
	機械工作法Ⅱ		1		2	1			
V	材料力学I		2			2			
必 6 科 目 日<	材料力学Ⅱ 材料力学Ⅱ	D	2			2	2		1
(本) (**)		В						-	+
(株) (+	熱力学 に対工学	В	2			-	2	1	-
Table Ta	伝熱工学	 	1			-	-	1	1
工実機機 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	流れ学Ⅰ	-	1			1	_	-	-
科 機機 1 振送 電子 機機 機機 (基本) (基本) (基本) (基本	流れ学Ⅱ	В	2				2		1
機様 1	工業力学	В	2				2		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	機構学		1				1		
振り で	機械設計法	В	2				2		
セン。電影 電影 機構 機構 大名 機構 大名	自動制御 I		1					1	
電電: 機機 機構 機構 機構 機構 機構 機構 機構 機構	振動工学 I		1					1	
電: 機機 機構 CA 機機 A 力 箱 様 機 機	センサ工学		1				1		
機機 機機 機機 機機 機機 機械 機棒 機棒	電気工学		2			2			
機機 機機 機機 機機 機構 機構 機構 機構	電子工学		2				2		
機機 CA 機機 機機 機機 機機 機機 機機	機械製図		4		4				
CA 機機 メカ 前機 機構 対射 機構 対射 機構 対射 連載 ジャ 本電デ情 で情報 はいり 機構 がり 変数 がり 変数 でき はいり ない でき はい ない でき はい はい ない ない </td <td>機械設計製図 I</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td>	機械設計製図 I		3			3			
機機 機機 メカ前 機機 メカ前 機械 機械	機械設計製図Ⅱ		2				2		1
機機 大力 機様 大力 機様 機様 大力 機様 機様 機様 整根 自順 シン 材料 電子 情報 セ を移利 単電 デー 情報 セ 単元 で 情報 セ セ ・	CAD•CAE		1					1	
機機 大力 機機 大力 機機 機機 機機 機機	機械工作実習 I		4		4				
Xカ 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大	機械工作実習Ⅱ		3			3			
知情 機構 一次	メカトロニクス実習		1			1			
機機 機機 機機 本学際カリキ 単常 で	知能機械演習		2			1	2		1
機機 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部	機械工学実験I		2				2		-
マップ マッ	機械工学実験Ⅱ		2					2	
	卒業研究		9					9	1
熱抗 流信 通収科目 シック材 必修料目 サロック 学際カリキ 選択 学際カリキ 選択	修得単位計	ļ	78	c	1.0	20	9.4	16	1
熱抗 流信 通収科目 シック材 必修料目 サロック 学際カリキ 選択 学際カリキ 選択	材料力学Ⅲ	1		6	12	20	24		
選択科目			1					1	-
自 振 シフ材 シフ材 シフ材 ・シフ材 ・シス材 ・シス材 ・シス材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	熱機関	 	1					1	1
探目 20 20 20 20 20 20 20 2	流体機械	 	1				-	1	
日	自動制御Ⅱ		1			1		1	7単位中5単
対	振動工学Ⅱ	<u> </u>	1			ļ		1	以上修得
必修科目 学際カリー 選 情報 センデー 様々 セン	システム工学	↓	1					1	1
修 科 目 学 際 カ リ キ 報 択 せ と と と と に り に り に り に り に り に り に り に り	材料科学	<u> </u>	1					1	1
修 科 目 学 際 カ リ キ 報 択 せ と と と と に り に り に り に り に り に り に り に り	修得単位計		5以上					5以上	
科目 学際カリキ 根 オロデー 電力デー 情幸 セン	プロジェクト演習	<u> </u>	1				1		1
目 # 5 電力 カリリ 選 情報 キ 択 セン	数理・データサイエンス入門		1				1]
学 か 選 情幸 セン	修得単位計		2				2		
祭 カ リ 選 情幸 ヤ セン	#ロボットシステム		1					1	
カ リ 選 情報 セン	電力エネルギー工学	А	1			1]
リ 選 情報 キ 択 セン	データエンジニアリング基礎		1					1	[
キー択セン	情報·制御基礎	А	1			1			1
	センサ材料工学	1	1					1	10単位中1単
	分子•材料設計基礎	А	1			1			以上修得
ラー目 生物	先端分子•材料設計	 	1			<u> </u>		1	1
Δ	空間情報工学	А	1			1		1	1
	空间用報工子 地盤防災工学	А	_			1	<u> </u>	1	1
	地盤的灰工子 他大学等科目(学際)	 	1			1	1	1	1
他フ		Ь	1				1011		
	修得単位計		1以上				1以上		1
	修得単位計		3以上				3以上		
修得単位合計 卒業認定必要単位	学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む		86以上	6	12	20以上	24以上 68以上	21以上	

^{#:}専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実質のみ可)

機械工学科授業科目系統図 (3~5年)

#70 */ * T#	1年	2年	<u> </u>		5年
学習·教育目標 -	前期後期	前期後期	前期後期	前期後期	前期後期
RA 多様な文化や価値 観を認識できる能 力を身に付ける.					
RB 数学とその他の自 然科学: およびの 分くり、環境 でいるよう のができません。 からが、できません。 からが、できません。 からが、できません。 を身に付ける。	専門基礎 I	機械工作実習Ⅰ 機械工作法Ⅰ 機械製図 材料学Ⅰ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数理統計学 応用物理 I	 応用数学 応用物理Ⅱ 機械設計製図Ⅱ 機械設計法 機構学 熱力学 流れ学Ⅱ 工業力学 センサエ学 数理・データ サイエンス入門 	→ 機械計算力学 → 材料科学* → 材料力学皿* → 伝熱工学 → 熟機関* - 流体機械* → 振動工学 I → 振動工学 I * 自動制御 I → 自動制御 I * ジステム工学* ロボットンステム* データエンジニアルク単型 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。					卒業研究
RD 技術者に必要なデ ザインマインドを身 に付ける.			メカトロニクス実習	知能機械演習プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理 的思考能力をを身 に付ける.				機械工学実験I	→ 機械工学実験Ⅱ 卒業研究
1		<u>:</u>	: 12	i .	*:選択科目

機械工学科(3~5年)

				 科(準学士課	 !程)		
大項目	L	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる.	歴史 I 地理 I 地理 II	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
価値観を認識 できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそれに根ざした価値観を,認識・ 理解する意識を持てる.	音楽	美術			
	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
RB 数のお野の境すを学はないにづびを引いいいできましたがあります。 を外間を引きませる できます できます かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	2	専門分野におけるでは、 専門を選集を受けるできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	専門基礎Ⅱ専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法 I 材料学 I 機械工作実習 I 機械製図	で機材ででででである。 では、一人ででである。 では、一人ででである。 では、一人ででは、一人ででは、一人でででは、一人でででは、一人でででは、一人ででは、一人ででは、一人では、一人	日機材工機流熱電ン機環ン機・大大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大・大・大・	機 シ材振振自自 電 ロ電 セエ械材流伝熱ス料動動動の場一境ト計設材倫算科機工関工工制制・C工基科シ測材料理力学械学関工学学学御御Aネ礎学テ制料工理力学械学 学ⅢIⅢIIル ム御 学
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 13	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語 V 英語特講

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付ける。	2	日本語の文章 や言語作品を 的でき、自分の 思いや主張を 適切話や文 の談話できる。 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求して 問題解決能力 の重要性を認 識できる.			メカトロニクス実 習	知能機械演習プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験 I	機械工学実験Ⅱ
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理知知道とは という はいます という できます できます できます できます できます できまり できまり できまり いい はい					卒業研究
	3	身体・健には 知識と 神一ツと は は は は は は は は は は は は に な い に さ む に さ む に む い こ む い に む む い に む む い こ む し に し し し し し し し し し し で し し で し し で し で	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目 機械工学科

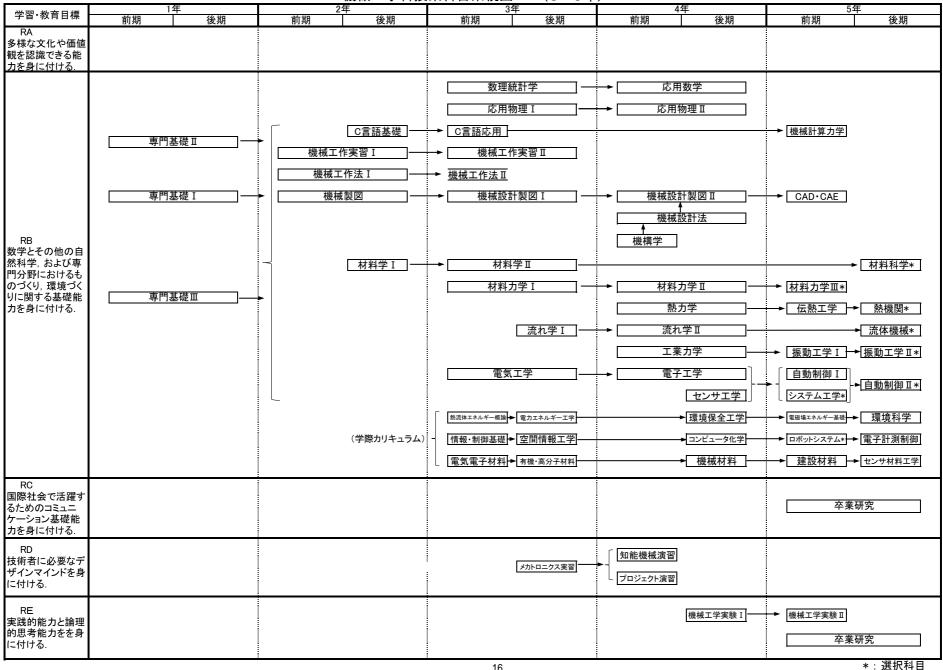
			極 类 利 日	単位	出压料		1	年別酉		ı	I;#±	±.
			授業科目	種別	単位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備	考
		数:	理統計学		2		'	2				
			用数学	В	2				2		1	
		応	用物理 I		2			2			1	
			用物理Ⅱ	В	2				2			
			門基礎 I		2	2						
			門基礎Ⅱ		2	2	ļ					
			門基礎Ⅲ 言語基礎		2	2	1				-	
			言語本版		1		1	1			1	
			 		1			1		1	1	
			科学 I		1		1				1	
		*	材料学Ⅱ		2			2				
		機	滅工作法 I		2		2]	
			械工作法Ⅱ		1			1				
			料力学 I		2			2				
业	5		料力学Ⅱ	В	2		ļ		2		-	
			力学 伝熱工学	В	2				2	1	-	
1/2	r		ロボニナ h学 I		1			1		1		
修	E .		h学Ⅱ	В	2			1	2		1	
			業力学	В	2				2		1	
科	ł	機			1				1			
			戒設計法	В	2				2			
Ħ			自動制御I		1			ļ		1	1	
			動工学Ⅰ	_	1		<u> </u>		-	1	-	
			センサ工学 気工学		2			2	1		-	
			<u> </u>		2				2		1	
					4		4				1	
			滅設計製図 I		3			3			1	
		機	械設計製図Ⅱ		2				2			
		CA	D•CAE		1					1]	
			滅工作実習 I		4		4					
			滅工作実習Ⅱ		3		ļ	3				
			ルロニクス実習 能機械演習		2			1	0		4	
			 		2				2		-	
			械工学実験Ⅱ		2					2	1	
			業研究		9					9	1	
			修得単位計	4	78	6	12	20	24	16	1	
			料力学Ⅲ		1					1		
			熱機関		1					1		
遵			流体機械 動制御 T		1					1	- >> / / -	. =
折科			動制御Ⅱ 動工学Ⅱ		1		1			1	7単位中 以上修	
目			助エチⅡ ステム工学		1					1	- XIII	lд
			材料科学	-	1		1	1		1	1	
			修得単位計	-	5以上					5以上	1	
	必修科目	プロ	コジェクト演習		1				1			
ſ		環	熱流体エネルギー概論	А	1			1				
		ゼ境	電力エネルギー工学	А	1		ļ	1		ļ	2単位	
		1	電磁場エネルギー基礎	A	1			ļ		1	以上修	
		群ネ	環境科学	A	1		1	 	1	1	得する こと	
		ル	環境保全工学 他大学等科目(学際)	А	1 2以内		1	-	1 21	以内	-	君
学		<u>L</u> obo	# ロボットシステム	A	1			1	2.8	1	†	月
祭 力		情報	電子計測制御	A	1		†	1		1	2単位	1
リ	選	+1X	情報·制御基礎	A	1			1			2単位 以上修	他
+	択科	制	コンピュータ化学	А	1				1		得する	4
ュラ	科目	御群	空間情報工学	А	1			1			こと	2
4		41+	他大学等科目(学際)		2以内		<u> </u>	<u> </u>	_	以内	<u> </u>	3
		材	機械材料	A	1		ļ		1	ļ	-	
		料料	電気電子材料	A	1		<u> </u>	1		-	2単位	
		科	センサ材料工学	A	1		-	1	-	1	以上修 得する	
		学	有機·高分子材料 建設材料	A	1		 	1	-	1	さら	
		子 群	他大学等科目(学際)	A	2以内		1		21	以内	1	
							1	1	ير ن		1	<u> </u>
			修得単位計		2以上				2以上			
j									2以上 3以上			

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

機械工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上 (そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者 については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とす

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

機械工学科授業科目系統図 (3~5年)



電気電子工学科(1~2年)

	本科(準学士課程)												
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年						
RA 多様な文化や			歷史 I 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論						
価値観を認識できる能力を身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそれに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術									
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講						
RB 数のお野の境すを学然専けらいにづび基につびを身る。 できない はいい できない いんしょう はい いんしょく はい いんしょく はい いんしょく はい はい いんしょく はい	2	専門分野におけるでは、 専門をできる。 専門をできる。 専門をできる。 専門のできる。 専門のできる。 専門のできる。 できる。	専門基礎 I 専門基礎Ⅲ	電気磁気学 I 電気回路 I 電気回路理 I	電電計電電情 テ 情分 空気気測子子報処論カイ・制材で報子 間気路学 I II テ は 基語 エング は 単型 I ドグ 御料 で 基設 エング 単数 エング 単数 単 I I I I I I I I I I I I I I I I I	電電電電報 報電変御工デス本磁回工回理Ⅱ工器の電電ででは、一次のでは、一次では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	電パ 機電 情現電電 ロデアセ先 地電力 制械気 報代気気術パーリサ端 盤学回統エクエ学子学信御子報基スン材子計災 理Ⅳ学 □ Ⅱ工 Ⅱ学計学 礎テジ礎工材 エエシエをデジ で						
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 17	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語 V 英語特講						

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的でき、自分の 思いや日本を 適切話話やき の表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し,解決 方法を探求し 問題要性を認 できる.		電気電子工学実 験 I	電気電子工学実 験 II 電子創造工学	プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較やき察などができる。				電気電子工学実 験皿	電気電子工学実 験IV
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理 たっぱい できる とり はいまま とり できる はいま					卒業研究
	3	身体・健康は ポー酸と実するので をでいる。 をでは、 をでは、 をできる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

電気電子工学科

	十上字科				学生	年別	記 当		
	授 業 科 目	単位種別	単位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備考
	数理統計学		2			2			
	応用数学	В	2				2		
	応用物理 I		2			2			
	応用物理Ⅱ	В	2				2		
	専門基礎 I		2	2					
	専門基礎Ⅱ		2	2					
	専門基礎Ⅲ		2	2					
	電気磁気学I		2		2				
	電気磁気学Ⅱ		2			2			
	電気磁気学Ⅲ		1				1		
	電気数学		1		1		1		
	電気回路I		2		2				
	電気回路Ⅱ		2		2	2			
	電気回路Ⅲ	В	2				2		•
	電気回路IV					-		0	
		A	2		0			2	
	電気回路演習		2		2				
	計測工学		2			2			
必	電子工学Ⅰ		2			2	<u> </u>	<u> </u>	
修	電子工学Ⅱ	А	2				2	ļ	
科	電子回路I		1			1		ļ	
目	電子回路Ⅱ	\perp	2		<u> </u>		2	ļ]
	情報処理 I		2		2]
	情報処理Ⅱ		1			1]
	情報処理システム論 I		2			2			
	情報処理システム論Ⅱ		2				2		
	情報通信工学I		2				2		
	電気機器		2				2		
	発変電工学	А	2				2		
	制御工学 I	В	1				1		
	制御工学Ⅱ	В	1				1	1	
	機械工学概論 I	В	1				1	1	
	機械工学概論Ⅱ		2				1	2	
	電子創造工学		2			2			
	電気電子工学実験 I		2		0				1
	電気電子工学実験Ⅱ		2		2	9			
	電気電子工学実験Ⅲ		4			2	4		
							4	0	
	電気電子工学実験IV		2					2	
	卒業研究		9			2.0	0.5	9	
	修得単位計		78	6	11	20	25	16	
	電気電子応用工学		1					1	
	情報通信工学Ⅱ		1					1	
選	現代制御工学		1					1	
投	電気電子設計		1					1	8単位中5単位
科	電気情報工学		1					1	0単1以中3単1 以上修得
目	技術者基礎		1					1	->\1\(\sigma\)
,	電力系統工学		1					1	
	パワーエレクトロニクス		1					1	
	修得単位計	•	5以上					5以上	
必	プロジェクト演習		1				1		
修 科	数理・データサイエンス入門	1	1				1		
目	修得単位計	•	2		Ì		2		1
	テクニカルドローイング	А	1			1			
学	ロボットシステム	T	1				<u> </u>	1	
際力	#データエンジニアリング基礎		1		1		İ	1	1
カリス	(本 40 年 7km 甘 7km	A	1			1		1	1
サー選		Λ	1		+	1	+	1	10単位中1単位
八日科	分子•材料設計基礎	Λ	1		1	1	1	1	以上修得
ラー目	先端分子•材料設計	А				1		1	シートは
ム		 	1			-	-	1	-
	空間情報工学	А	1			1		ļ .	
	地盤防災工学		1		1			1	1
						i	1		1
	他大学等科目(学際)		1						
	他大学等科目(学際) 修得単位計		1以上				1以上		
	他大学等科目(学際)						1以上 3以上	21以上	

- #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)
- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。

 - A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電気電子工学科授業科目系統図 (1~2年)

	1年	电风电丁工子 2年	科授業科目系統図	2 <i>午)</i> 【 4年	5年
学習·教育目標 —	前期 後期	前期 人 後期	うサービス 前期 後期	前期 後期	前期 後期
RA 多様な文化や価値 観を認識できる能 力を身に付ける.					
RB 学とその他のの専 が科学・おおけるもくりができません。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	専門基礎 I 専門基礎 I	電気磁気学 I 電気回路 I 電気回路 I 電気回路演習	数理統計学 応用物理 I 電気磁気学 I 電気磁気学 I 電気磁気学 I 電気回路 I 電子回路 I 計測工学 「情報処理 I 「でクーカルドローイング」 は「情報・制御基礎」 クチ・材料設計基礎 空間情報工学	応用数学 応用物理	■ 電気回路IV 制御工学 I
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける.					卒業研究
RD 技術者に必要なデ ザインマインドを身 に付ける.		電気電子工学実験 [→ [電気電子エ学実験Ⅱ]→[電子創造工学]	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論 理的思考能力を を身に付ける.				電気電子工学実験Ⅲ	→ 電気電子エ学実験Ⅳ 卒業研究 *:選択科目 #:学際カリキュラム

電気電子工学科(3~4年)

本科(準学士課程)												
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年					
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様語や歴史・伝統多のに認識できる。	歴史 I 地理 I 地理 II	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会 Ⅱ 公共社会 Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論					
価値観を認識 できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそれに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術								
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講					
RB 数のお野の境すを学はないにづづ基につづきなりに能けいに能けいに能けい。 できる いっぱん はいい はい	2	専門分野におけるでは、 専門をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	専門基礎Ⅱ■専門基礎Ⅲ	電気磁気学 I 電気回路運 I 電気回路運 I 電気回路運 I	電電電電情報、電情空電有気気別子子報処論体一工工制情電高料気路学ⅠⅡ元 概水学御報子分学ⅡⅡ元 水論・ 基工材子 単二 大	電電電報報環ン日気気子子処論信機環ンでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	電パ 機電 情現電電技電 ロ電 セエ電カーニ御工電 通代気気術磁ギ環ッ子建サ学回統レス学概応 工工設工基科と訓材料のエンス学概応 工工設工基本礎学テ制料工理Ⅳ学口 Ⅱ 論用 学学計学使ル ム御 学					
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 21	英語皿	英語Ⅳ	英語 V 英語特講					

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付ける。	2	日本語の文章 や言語作品を 的でき、自分の 思いや主張を 適切話や文 の談話できる。 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求して 問題解決能力 の重要性を認 識できる.		電気電子工学実 験 I	電気電子工学実 験 II 電子創造工学	プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電気電子工学実 験皿	電気電子工学実 験IV
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理 たて を 調 で と で で で で で で で で ど 一 察 り 的 で ど 一 察 り 的 で ど 一 察 り 的 る で だ ま り の で ど ー 察 り 的 る い で と を す き い の で と を す き い の で と で き か で と を す で と で で か い の る で で で か い の る い の で で か い の る い の で か い の の い の の い の い の の い の い の い の い の					卒業研究
	3	身体・健康・ス 知識と実するかに を獲得を応じてし、 がになるでで をあるプでで を達る。	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

電気電子工学科

			[전 # 회 F	単位	774 1 L 401		学	1	记当		141-	_tr.
			授 業 科 目	種別	単位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備	考
		数	理統計学		2			2				
		応	用数学	В	2				2			
			用物理I		2			2				
			用物理Ⅱ	В	2				2			
			門基礎 I		2	2						
			門基礎Ⅱ		2	2					_	
			門基礎Ⅲ		2	2						
			気磁気学 I		2		2			ļ		
			気磁気学Ⅱ		2			2		ļ		
			気磁気学Ⅲ		1				1	ļ		
			気数学		1		1				_	
			気回路 I 気回路 II		2		2	0		1		
			ス回路 II 気回路 III	D	2 2			2	0		1	
			スロ路Ⅲ 気回路IV	В				<u> </u>	2	0	1	
			スロ路IV 気回路演習	A	2 2		2			2	-	
			<u> </u>		2			9			-	
			<u>関エチ </u>		2			2				
	区		」	A	2				2	<u> </u>	1	
	修		モリエナ Ⅱ 子回路 I	Λ	1			1			1	
	卧		子回路 II	-	2			1	2	<u> </u>	1	
	Ħ		報処理I		2		2	1			1	
			報処理Ⅱ		1			1			1	
			報処理システム論I		2			2	l		1	
			情報処理システム論Ⅱ		2			<u> </u>	2		1	
			報通信工学 I		2				2			
			気機器		2				2			
			変電工学	А	2				2			
		制	御工学 I	В	1				1			
		制	御工学Ⅱ	В	1					1	1	
		機	械工学概論 I		1				1			
		機	械工学概論Ⅱ		2					2	1	
			子創造工学		2			2				
			気電子工学実験 I		2		2					
			気電子工学実験Ⅱ		2			2				
		電	気電子工学実験Ⅲ		4				4]	
			気電子工学実験IV		2					2		
		卒	業研究		9					9		
			修得単位計		78	6	11	20	25	16		
			電気電子応用工学		1					1		
			情報通信工学Ⅱ		1					1	_	
ì	巽		現代制御工学		1					1	4	
			電気電子設計		1					1	8単位中	中5単
	科		電気情報工学		1					1	以上修	得
	Ħ		術者基礎 重力系統工学	-	1			 	 	1	1	
			電力系統工学 フーエレクトロニクス	-	1			 	 	1	1	
			修得単位計		1 5以上			1		1 5以上	1	
	必修科目		1ジェクト演習		5以上			 	1	J以上	1	
	e-sett H		熱流体エネルギー概論	A	1			1	1	<u> </u>	 	
		環	電力エネルギー工学	A	1			1			2単位	
		ギ・	電磁場エネルギー基礎	A	1			1		1	2甲位 以上修	
		工	環境科学	A	1				1	1	得する	
		不	環境保全工学	A	1			İ	1		こと	
学		ル	他大学等科目(学際)		2以内				2 L	以内		稍
_下 際		情	ロボットシステム	А	1					1		別
カ	選	報	# 電子計測制御	А	1					1	2単位	に 値
IJ	摂	• Heat	情報•制御基礎	A	1			1			以上修	18
キっ	科	制御	コンピュータ化学	A	1				1	ļ	得する こと	す
ュラ	目	御 群	空間情報工学	А	1			1		I de		すること
Ĺ		urt*	他大学等科目(学際)		2以内			1		以内	1	
		材	機械材料	A	1				1		1	٤
		料	電気電子材料	A	1			1	 	1	2単位	
		科	センサ材料工学	A	1			1		1	以上修得する	
		学	有機·高分子材料 建設材料	A A	1			1	-	1	きょう	
		群	建設材料 他大学等科目(学際)	A	2以内			1	913	以内	┪ ̄	
		 	修得単位計		2以上		l	2以上	445	est 4	 	1
	<u> </u>	·	修得単位計		3以上			3以上			†	
			学際カリキュラム除				Ι	_	05101 1	21以上	t	
kis:	得单位	가 슴 의	ナテンフィー・フィー・	\	86以上	6	11	20以上	25V/ P	4 1 1		

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電気電子工学科授業科目系統図 (3~4年) 4年 5年 学習·教育目標 前期 後期 後期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 前期 多様な文化や価値 観を認識できる能 力を身に付ける. 数理統計学 応用数学 応用物理I 応用物理Ⅱ 専門基礎Ⅱ 電気磁気学I 電気磁気学Ⅱ ➡ 電気磁気学皿 専門基礎Ⅲ 電気回路Ⅱ 電気回路Ⅲ 電気回路IV 電気回路I 電気回路演習 制御工学 I -→ 制御工学 Ⅱ → 現代制御工学* 機械工学概論 I 機械工学概論Ⅱ 発変電工学 電力系統工学* 数学とその他の自 電気電子応用工学* 然科学, および専 門分野におけるも のづくり, 環境づく 電気機器 ▶ 電気電子設計*+> パワーエレクトロニクス* りに関する基礎能 電子工学I → 電子工学 II 力を身に付ける. 電子回路I 電子回路Ⅱ 計測工学 情報通信工学I 情報通信工学Ⅱ* 専門基礎I 情報処理 I 情報処理システム論Ⅱ 情報処理Ⅱ 電気情報工学* 情報処理システム論 I 電気数学 技術者基礎* 熱流体エネルギー板論 → 電力エネルギー工学 ➡環境保全工学 電磁場エネルギー基礎→環境科学 情報·制御基礎 → 空間情報工学 ロボットシステム = 電子計測制御* (学際カリキュラム) -▶ コンピュータ化学 電気電子材料→有機·高分子材料 ▶ 機械材料 ● 建設材料 ● センサ材料工学 国際社会で活躍す るためのコミュニ 卒業研究 ケーション基礎能 力を身に付ける. 技術者に必要なデ プロジェクト演習 電気電子工学実験 I 電気電子工学実験Ⅱ→電子創造工学 ザインマインドを身 に付ける. RE 電気電子工学実験Ⅲ 電気電子工学実験Ⅳ 実践的能力と論

* : 選択科目 #: 学際カリキュラム

理的思考能力を

を身に付ける.

電気電子工学科(5年)

本科(準学士課程)												
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年					
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。		歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論					
価値観を認識 できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術								
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講					
RB とくれている。 では、	2	専門分野におけるでは、 専門を基準をは、 をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	専門基礎Ⅱ専門基礎Ⅲ	電気磁気学 I 電気回路 I 電気回路 I 電気回路運動 I 電気回路運 I	電電 電電情 熱 電 情空電有気気計子子報処論体一ス工制情電高機気回工学路理シスス ネ論ギ 基工材子学路学 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	電電電電報が乗り出する。 日気気子子処論信機では、大変の工の理Ⅱ工を発制をできますができますが、大変のでは、ないがではないがでは、ないがではないがではないがではないないがではないがではないないがではないないがではないがでは	電電パ 機電 情現電電技電 ロ電 セエ電電力 制械気 報代気気術磁ギ環ッ子建サ学気子系エクエ学子学信御子報基インリ財材料の出土の大学概応 エエ設工基ネ礎学テ制料工理以正学ト Ⅱ論用 学学計学使ル ム御 学 エエ エア エエ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ					
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 25	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語V 英語特講					

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的でき、自分の 思いや日本を 適切話話やき の表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し,解決 方法を探求し 問題要性を認 できる.		電気電子工学実 験 I	電気電子工学実 験 II 電子創造工学	プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較やき察などができる。				電気電子工学実 験皿	電気電子工学実 験IV
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理 たっぱい できる とり はいまま とり できる はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま					卒業研究
	3	身体・健康は ポー酸と実するので をでいる。 をでは、 をでは、 をできる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

			授業科目	単位	単位数	1	学 4	手 別 [記 当 4	5	備	考
			2 2 11 1	種別	1 122.90	年	年	年	年	年	VIII	,
			理統計学		2			2				
			用数学	В	2				2		_	
			用物理Ⅰ		2			2			4	
			用物理Ⅱ	В	2				2	ļ		
			門基礎 I 門基礎 II		2	2			-	-	-	
			門基礎Ⅲ		2	2					-	
			気磁気学I		2		2				1	
			気磁気学Ⅱ		2			2				
			気磁気学Ⅲ		1				1		1	
			気数学		1		1				Ī	
		電	気回路 I		2		2				1	
			気回路Ⅱ		2			2				
			気回路Ⅲ	В	2				2			
			気回路IV	В	2					2		
			気回路演習		2		2					
			測工学		2			2				
			子工学Ⅰ		2			2			-	
	2/		電子工学Ⅱ 電子工学Ⅲ	В	1				1	- 1	1	
	多		電子工学Ⅲ 子回路 I		1			1	-	1	1	
	je i				2		1	1	2	 	1	
	i		<u>,□□□□</u> 報処理 I		1		1					
			報処理Ⅱ		1			1			1	
			報処理システム論 I		2			2			Ī	
		*	情報処理システム論Ⅱ		2				2		1	
			報通信工学Ⅰ		2				2			
			気機器		2				2			
	-		変電工学		2				2		_	
			電力系統工学		1					1		
			ワーエレクトロニクス		1					1	_	
			御工学 I	В	1		ļ		1			
			御工学 II 械工学概論 I	В	1				1	1	-	
			械工学概論Ⅱ		2				1	2	1	
		_	子創造工学		2			2				
			気電子工学実験 I		2		2				1	
			気電子工学実験 Ⅱ		2			2				
		電	気電子工学実験Ⅲ		4				4		1	
		電	気電子工学実験IV		2					2		
		卒	業研究		9					9		
			修得単位計	-	79	6	10	20	24	19		
			電気電子応用工学		1					1		
ì	巽		情報通信工学Ⅱ		1					1	_	
	尺		現代制御工学 電気電子設計		1					1	6単位中	74単
			電気電子取計 電気情報工学		1				-	1	以上修	得
	Ħ		電 X I I I I I I I I I I I I I I I I I I	+	1					1	1	
		IX.	修得単位計	1	4以上					4以上	1	
	必修科目	プ	コジェクト演習		1				1	/		
		授	熱流体エネルギー概論	А	1			1				
		境	電力エネルギー工学	A	1			1			2単位	
	1		電磁場エネルギー基礎	A	1		ļ			1	以上修	
		群ネ	環境科学	A	1				-	1	得する こと	
		ル	環境保全工学 他大学等科目(学際)	A	1 2以内		<u> </u>		1 21	以内	1	群
学			他人子寺村日(子原) ロボットシステム	A	1				44	1	 	別
際 力		情報	# 電子計測制御	A	1					1	2単位	V.
IJ	選	•	情報·制御基礎	A	1		1	1			以上修	修得
+	択科	制	コンピュータ化学	А	1				1		得する	有す
ュラ	目	御群	空間情報工学	А	1			1		Ļ	こと	る
フム	1	村芋	他大学等科目(学際)		2以内		ļ			以内	1	ること
		材	機械材料	A	1				1			اع
	1	料	電気電子材料	A	1		1	1	<u> </u>	-1	2単位	
	1	科	センサ材料工学 有機・高分子材料	A A	1		1	1		1	以上修 得する	
		学群	建設材料	A	1			1		1	25 141.2	
		群	他大学等科目(学際)	11	2以内				21	内	1	
			修得単位計	1	2以上			2以上			t	
		•	修得単位計	3以上			3以上			<u>L</u>		
	<u> </u>		学際カリキュラム除			_	_	20以上				

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とす

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電気電子工学科授業科目系統図 (5年)

電気電子工学科授業科目系統図 (5年)											
学習·教育目標	前期	1年 後期		中 後期	前期	年 後期	前期	4年 後期	前期	後期	
RA 多様な文化や価値 観を認識できる能 力を身に付ける.	נפילנים	(2,70)	BU79J	150,701	81770	[&79]	89790	[2,79]	1979)	(50,70)	
RB 数学とその他の自 然科野(こおでいるも のづくり、でいるも のづくり、で で りに 関 りに り り り り り り り り た も も で も り で も り で も り で も り で も り で も り で も り で も り り り り	専門	基礎 I	電気回電気回電気回電気回電気回電気の電気のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	回路 I	応用 電気を 電気 電気 電気 電気 電気 電気 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	統計学 物理 I 数気学 I 回路 I 一 で電子回路 I リエ学 ンステム論 I ・ 空間情報エ学 ・ 有機・高分子材料	○ 応用	制御工学 I 一 機械工学概論 I 一 電工学	制御工学Ⅱ 機械工 電力系統工学* 電気電子応用工学* 電気電子設計* 電気電子設計* 一電子工学Ⅲ	-71. 2011 2	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。									卒第	《研究	
RD 技術者に必要なデ ザインマインドを身 に付ける.				電気電子工学実験 I	■気電子工学実験Ⅱ	➡電子創造工学	プロジェクト演習]			
RE 実践的能力と論 理的思考能力を を身に付ける.							電気電子	-工学実験Ⅲ —		き研究 : 学際カリキュラム	

*:選択科目 #:学際カリキュラム

電子情報工学科(1~2年)

			本	科(準学士課	!程)		
RA を理解、様々 な地域の言語 歴史 I		5年					
多様な文化や	1	本的な仕組み を理解し、様々 な地域の言語 や歴史・伝統な どの文化を多 面的に認識で				第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
できる能力を	2	おける芸術とそれに根ざした価値観を、認識・ 理解する意識	音楽	美術			
	1	の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき	基礎解析B 物理基礎 化学 I	線形代数 物理	数理統計学 応用物理 I 基礎数学	応用数学	数学特講
数学とその他 の自然科学, および専門るも のづづくりに関 する基礎能力 を身に付け	2	ける基礎知識・ 技術に基づい て情報を処理 し、工学的現象 を正しく理解で	専門基礎 Ⅱ	情報工学基礎 プログラミング基 礎	電気 I 電気値ラミン 計算 グラミン 計算 機 ーティム 計算 ペレスットで 報 本 スットで は 本 スットで	機械工学概論 信号を 電気域気が 情報がディア 情報がディア 計算機構で 計算機構で 計算が 情報構造 情報構造論	エ 業 期信 ま ま で 大 大 大 で 大 で 大 の で は れ ま れ れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ ま れ れ ま れ ま れ れ ま れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 29	英語皿	英語Ⅳ	英語V 英語特講

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的確に理解・鑑 賞でき、自分の 思いや主張を 適切話や文章 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.	専門基礎Ⅱ				卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求して 問題解決能力 の重要性を認 識できる.		情報基礎演習 電子情報工学実 験 I	電子情報工学実 験 II	創造工学演習 プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電子情報工学実験皿	電子情報工学実 験IV
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理 たっぱい では という は できます できます できます できます できます できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり					卒業研究
	3	身体・健には 知識と 関連と を で は に は に に い に い に い に い に い に い に い に い	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

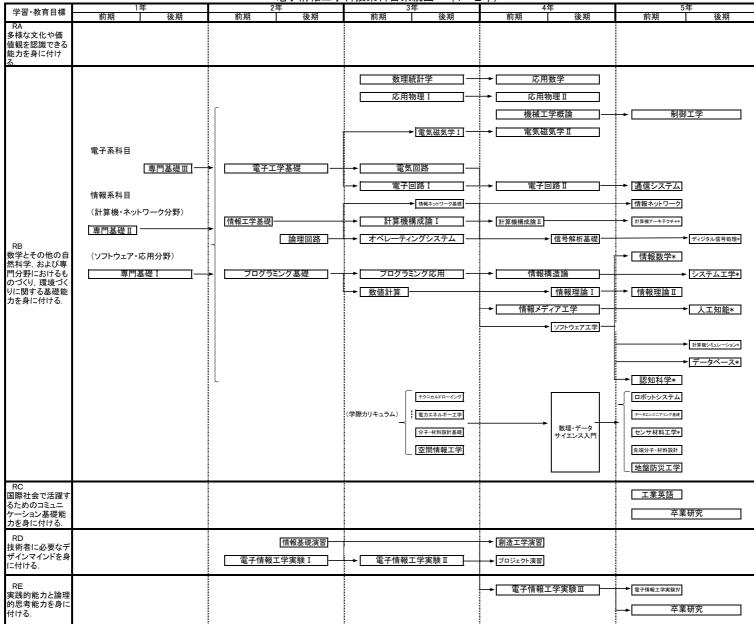
電子情報工学科

		14 A D	単位	77. tr. m.		学年		配当		/++±
		授業科目	種別	単位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備考
		数理統計学	T	2			2			1
	L		В	2				2		1
	L			2			2			1
	-		В	2				2		4
	ŀ			2	2		_			1
	ŀ			2	2					1
	### おいます 数知知報 本語 数知知報 本語 数知知報 本語 数知知報 本語 数知知報 本語 数据 数据 数据 数据 数据 3 3 3 3 3 3 3 3 3		В	2 2	2			2		1
			D	2		2				1
				2			2			1
			_	1			2	1		1
				2			2	1		†
				2				2		1
				1			1	<u> </u>		
		電気磁気学Ⅱ		2				2		1
		数值計算		1			1			1
		情報メディア工学		2				2		1
			В	1					1]
57				1		1				1
				1		1				1
				2		2				1
			2			2		1	1	
	科	情報ネットワーク基礎		1			1			4
		114 112		1		1	-		-	1
	-		n	2		-	2	1	-	+
	ŀ		В	2			2	1		+
	-		_	2			2	2		-
				1				1		1
			В	2				2		†
			+ -	2					2	†
				1					1	†
			В	1					1	1
			—	1				1		1
	ſ	情報理論Ⅱ	В	1					1	1
		電子情報工学実験 I		4		4				
		電子情報工学実験Ⅱ		4			4]
		電子情報工学実験Ⅲ		4				4		1
		電子情報工学実験IV		2					2	1
				9					9	1
	ļ	修得単位計		79	6	11	21	24	17	
	-			1					1	4
	-			1					1	4
選	. -			1					1	1
択			_	1			-	_	1	8単位中4単
			+	1		-	 	_	1	以上修得
日	ŀ	117 27 122		1			<u> </u>		1	1
修科目 選択科目 と終力した 適比 2000 2000 100 100 100			1					1	†	
	ŀ	修得単位計		4以上					4以上	1
Т				1				1	/-	
		数理・データサイエンス入門		1				1		1
		修得単位計		2				2		1
<u>"</u> [テクニカルドローイング	A	1		L	1			
学				1					1	
カ リ 選 - 択	電力エネルギー工学	A	1			1				
	データエンジニアリング基礎		1					1	1	
			1					1	10単位中11	
,	_ 科	分子•材料設計基礎	A	1			1			以上修得
		先端分子·材料設計		1				1		1
	L		A	1			1			1
	L			1				<u> </u>	1	1
	ļ	他大学等科目(学際)		1				1		
L	[修得単位計		1以上				1以上		1
- 1		修得単位計 学際カリキュラム除の		3以上			ļ	3以上		
								24以上		

^{#:}専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電子情報工学科授業科目系統図 (1~2年)



電子情報工学科(3~5年)

			本	科(準学士課	!程)		
RA を理解し、様々な地域の直語 体を地域の文化を多面的に認識できる能力を身に付ける。 ***********************************			5年				
多様な文化や	1	本的な仕組み を理解し、様々 な地域の言語 や歴史・伝統な どの文化を多 面的に認識で	地理 I			第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅲ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
できる能力を	2	おける芸術とそれに根ざした価値観を、認識・ 理解する意識	音楽	美術			
	1	の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき	基礎解析B 物理基礎 化学 I	線形代数 物理	数理統計学 応用物理 I 基礎数学	応用数学	数学特講
数学とその他 の自然科学, および専門分	2	専門分野におけるでは、 専門を基基を受けるできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専門基礎Ⅱ専門基礎Ⅲ	電子工学基礎 情報エ学基グラミング 礎 論理回路	電子回路 I 電気磁気学 I 数値計算 プログラミング応	機械工学概論	情計デシ計 デ電 ロ電 セエエ制信ネ報情人算 イス算レ認一磁ギ環ッ子建サ学業御シッ理報工機クジ処テ機一知タ場一境ト計設材倫英エスト理数知アチル理ムショ科ベエ基科シ測材料理語学テワ論学能キ 信 エミン学ーネ礎学テ制料工理語学ムーII学能キ 信 学ュ スル ム御 学
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語 Ⅱ 33	英語皿	英語Ⅳ	英語 V 英語特講

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的確に理解・鑑 賞でき、自分の 思いや主張を 適切話や文章 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.	専門基礎Ⅱ				卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求して 問題解決能力 の重要性を認 識できる.		情報基礎演習 電子情報工学実 験 I	電子情報工学実 験 II	創造工学演習 プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電子情報工学実験皿	電子情報工学実 験IV
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理 たっぱい では という は できます できます できます できます できます できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり					卒業研究
	3	身体・健には 知識と 関連と を で は に は に に い に い に い に い に い に い に い に い	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

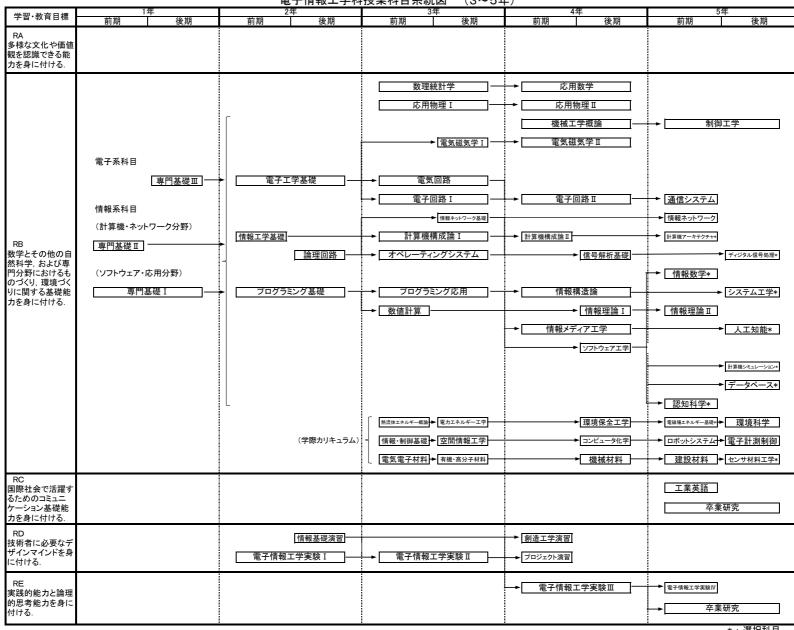
			授 業 科 目	単位	単位数	1	学 年	3	配 当	5	備	考
				種別	, ,	年	年	年	年	年		·
			理統計学		2			2				
			用数学 用物理 I	В	2			2	2		-	
			用物理Ⅱ	В	2			- 4	2			
			門基礎 I		2	2						
			門基礎Ⅱ		2	2						
			門基礎Ⅲ	D.	2	2			0			
			械工学概論 子工学基礎	В	2		2		2		_	
			気回路		2			2			1	
		号解析基礎		1				1				
			子回路Ⅰ		2			2				
			子回路Ⅱ 気磁気学Ⅰ		2			1	2		-	
			気磁気学Ⅱ		2			1	2		1	
必修る		值計算		1			1					
	_	報メディア工学		2				2				
		業英語	В	1					1			
		報工学基礎 報基礎演習		1		1				1		
1	修 科 目		中グラミング 基礎		2		2				1	
修 科	プ゜	ログ・ラミング 応用		2			2]		
			報ネットワーク基礎		1			1]	
		7.1.4	理回路		1		1	_			4	
			算機構成論 I 算機構成論 II	В	2			2	1		_	
		デールス 1457人 mm 11 ・レーティンク・システム	Б	2			2	1				
		造工学演習		2				2				
		フトウエア工学		1				1				
			報構造論	В	2				2	0		
			御工学 信システム		2					2	_	
			報ネットワーク	В	1					1		
		情	報理論I		1				1			
			報理論Ⅱ	В	1					1		
			子情報工学実験 I		4		4	.				
		_	子情報工学実験Ⅱ 子情報工学実験Ⅲ		4			4	4		1	
			子情報工学実験IV		2				-	2		
		卒	業研究		9					9		
			修得単位計		79	6	11	21	24	17		
			情報数学 人工知能		1					1	-	
			計算機アーキテクチャ		1					1	1	
	選		ディジタル信号処理		1					1	034 tt-d	- 432
	火 科		システム工学		1					1	8単位中 以上修	
	Ħ		計算機シミュレーション		1					1		
			認知科学 データベース		1					1		
			修得単位計		4以上					4以上	1	
	化修料日	プ	ロジェクト演習		1				1			
		環	熱流体エネルギー概論	A	1		ļ	1				
		ザ・	電力エネルギー工学 # 電磁場エネルギー基礎	A	1		1	1		1	2単位 以上修	
		二米	環境科学	A	1					1	得する	
		1	環境保全工学	А	1				1		こと	
学		ル	他大学等科目(学際)		2以内				212	力	1	君
祭 力		情報	ロボットシステム 電子計測制御	A A	1		-			1	034 14-	l
リ	選	平校 •	情報·制御基礎	A	1		1	1		1	2単位 以上修	1
キ	択科	制	コンピュータ化学	A	1				1		得する	彳一
ュラ	目	御群	空間情報工学	A	1			1	0.0	I de	こと	3
7		ur*	他大学等科目(学際) 機械材料	A	2以内				2 L	人内		1.10
		材	電気電子材料	A	1		 	1	1		2単位	ľ
		料科	# センサ材料工学	A	1					1	以上修	
		科 学	有機·高分子材料	A	1			1			得する	
		群	建設材料	A	1				0.0	1	こと	
			他大学等科目(学際) 修得単位計		2以内			<u> </u>	2以上	人内		
	—	Ĭ.	修得単位計		3以上				3以上		t	

^{*:}学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電子情報工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
 - 子に単位の行法によいておいている。 名:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電子情報工学科授業科目系統図 (3~5年)



令和7年度本科(準学士課程)の学習·教育目標と科目の配置

物質工学科(1~2年)

			本	—————————————————————————————————————	 !程)		
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や 価値観を認識	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様に を地域の言語や歴史・伝統を の文化を多 面的に認識できる。	歴史 I 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会 Ⅱ 公共社会 Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
画に観さい。 できる能力を 身に付ける。	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術			
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
数のお野の境すをる 学自びおり、にでである。 学然専けり、はではいいである。 他、分も環関力	2	専門を受ける。 専門の基には、 事門の基には、 事には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	専門基礎Ⅱ専門基礎Ⅲ	分無機化化学耳耳	分無有高物化 テー電 情空析機機分理学化カイエエ・制備 学学・エー・イエー・制報 単型・エー・・ はいかい がっかい がったい がっぱい がっかい がっかい かんしゅう はいかい かんしゅう ままま はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	基 基物化 情(ででである) とは、 というでは、 といういうでは、 というでは、 といういうでは、 というでは、 無有物化 (()([「応高 食 ([ロデアセ先 地 大機理学の質品生理養料応電子計薬産論エスエストタンサ分設防倫学化学学理学学)))]]学設 概 ー ー ムニ 学科 学 コ コ テジ礎工料 工工 デュー・デール デール・デール エ データ・デール デール・デール エ	

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき,自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語 V 英語特講
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的確に理解・鑑 賞でき、自分の 思いや主張を 適切に日本意 の談話や文る。 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し,解決 方法を探求して 問題乗性を認 の重要性を認 識できる.		物質工学実験 I	物質工学実験Ⅱ	プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(生物工学実験 I) [材料工学実験 I] (生物工学コー ス) [材料工学コー ス]	(生物工学実験 Ⅱ) [材料工学実験 Ⅱ] (生物工学コー ス) [材料工学コー ス]
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理たてを調行所に客では、 一次を調けて、 一次を調けて、 一次を調け、 一次を調け、 一家の、 一家の、 一家の、 一家の、 の、 、 、 、 、 、 、 、 、					卒業研究
	3	身体・健康・スる 知識と実まるために応設に応設に応設に応じた。 かに応じまるの目標をあるででは、 が関係をできるいでは、 が関係をでいる。 が関係でいる。 が関係でいる。 が関係でいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目 物質工学科

		授業科目	単位種別	単位数			年別世			備考
			性別		1年	2年	3年	4年	5年	
		数理統計学		2			2			
		応用数学 応用物理 I		1 2			2	1		-
			В	2				2		
		専門基礎 I	В	2	2			2		
		専門基礎Ⅱ		2	2					
		専門基礎Ⅲ		2	2					
		基礎工学概論	В	1				1		
		工業英語	В	1				1		
		分析化学 I 分析化学 II		1		1	1			-
		機器分析		2			1	2		
	共	無機化学 I		2		2				
	共	無機化学Ⅱ		1			1			
		無機化学Ⅲ		1					1	
		基礎材料化学		1				1		
		有機化学I		2		2				
		有機化学Ⅱ		2			2			-
		高分子化学 有機合成化学	+	1			1	-	1	
		物理化学 I		2			2		-	
必	122	物理化学Ⅱ	В	2				2]
修	通	物理化学Ⅲ	В	2					2]
科目		化学工学 I		2			2			
П		化学工学Ⅱ	В	2				2	_	
		化学工学Ⅲ	В	2			0		2	-
		生化学 I 生化学 II		2			2	2		-
		生命科学		1				2	1	
		情報化学 I		2		2				
		情報化学Ⅱ		2				2		
		品質管理		1					1	
		物質工学実験 I		5		5				
		物質工学実験Ⅱ	С	4			4		0	
		卒業研究 微生物学	A	8				2	8	
	ュ生	食品科学	A	2					2	
	1 120	分子生物学	А	2					2	
	一工ス学	生物工学実験 I	С	4				4		
		生物工学実験 Ⅱ	С	2					2	コース別に修得
	林	材料化学	A	2				2		すること
	コ料	材料工学	A	2					2	
	材料工学	反応工学 材料工学実験 I	A C	2				4	2	-
	字	材料工学実験Ⅱ	C	2				4	2	1
		修得単位計		81	6	12	19	22	22	
	共	創薬化学		1					1	コース別
	通	食料生産工学概論		1					1	4単位(土
選 択	ス学生コ物	生理学	_	1				-	1	1単位以上 及びコー 修得するこ 別開設単
科	ーエ ス学材	栄養化学	_	1				-	1	と。 数の合き 中2単位
Ħ	スチャッコ料 工	応用電気化学	\perp	1				<u> </u>	1	修得するこ 上修得す
	, _	高分子材料設計		1					1	と。 こと。
必	-p.	修得単位計	-	2以上				-1	2以上	
修		コジェクト演習 理・データサイエンス入門	-	1				1	-	-
科目	355.	修得単位計		2				2		1
	テ:	ウニカルドローイング	А	1			1	_		
全		ボットシステム		1					1]
7		カエネルギー工学	А	1			1			
選		ータエンジニアリング基礎	\perp	1					1	
択 科		報・制御基礎	А	1			1			10単位中1単位 上修得
7 目		ンサ材料工学 先端分子・材料設計	+	1					1	上沙行
`		尤端分子·材料設計 間情報工学	A	1			1	-	1	-
		时间和工子	A	1			1	1	1	1
		大学等科目(学際)		1				1		
修得単位計				1以上				1以上		
		修得単位計		3以上				3以上		
	_	学際カリキュラム除く	,	1	_	12	20以上	24 D.F	21以上	1

^{#:}専門選択科目(共通コース)に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

物質工学科授業科目系統図(1~2年) 学習·教育目標 前期 後期 る様な文化や価 値観を認識できる 能力を身に付け 数理統計学 → 応用数学 応用物理I 応用物理Ⅱ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ 情報化学 I 情報化学Ⅱ 品質管理 物理化学 I 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 化学工学 I 化学工学Ⅱ 化学工学Ⅲ 無機化学I ► 無機化学Ⅲ 無機化学Ⅱ 基礎材料化学 分析化学 I -→ 分析化学Ⅱ 機器分析 専門基礎I → 有機合成化学 有機化学I → 有機化学 II 創薬化学* 高分子化学 生化学 I 生化学Ⅱ 生命科学 基礎工学概論 食料生産工学概論 * RB 数学とその他の自 然科学、および専 門分野におけるも のづくり、環境づく りに関する基礎能 力を身に付ける。 工業英語 【材料工学コース】 反応工学 材料化学 → 材料工学 応用電気化学* 高分子材料設計 * 【生物工学コース】 微生物学 分子生物学 ★食品科学 ▶ 生理学* 栄養化学* ロボットシステム テクニカルドローイング (学際カリキュラム) 電力エネルギー工学 データエンジニアリング基礎 数理・データ サイエンス入門 情報·制御基礎 センサ材料工学 空間情報工学 先端分子·材料設計* 地盤防災工学 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付け 卒業研究 RD 技術者に必要な デザインマインドを 身に付ける. 物質工学実験 Ⅰ 物質工学実験 Ⅱ 一 材料工学実験 I 材料工学実験 I 【材料工学コース】 RE 実践的能力と論理 的思考能力をを身 に付ける. 生物工学実験 I 生物工学実験 Ⅱ 【生物工学コース】 卒業研究 *:選択科目

令和7年度本科(準学士課程)の学習·教育目標と科目の配置

物質工学科 (3~5年)

			本	—————————————————————————————————————	!程)		
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や 価値観を認識	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様語や歴史・伝統を をの文化を多面的に認識できる。	歴史 I 地理 I 地理 I	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会 Ⅱ 公共社会 Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
画に観さい。 できる能力を 身に付ける。	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術			
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
数のお野の境すをる 学はびおり、にでは 学然専けり、に様け の学別をはけり、に能け	2	専門を表に表してした。 専門を表に、一般を表に、一般を表に、一般を表に、一般を表して、 できる の できる できる の できる の できる の できる の できる の できる の できる の できる の できる の できる の できる で	専門基礎Ⅱ専門基礎Ⅲ	分析化学耳有機化学耳情報化学耳	分無有高物化 熱 電 情空電有析機機分理学化体一本工制情電高料学学・イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基 基物化 情(ででである) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	工無有物化 (()([「応高 食 ([電 ロ電 セ 工無機理学品食子生栄材反用分 創生 物 料 磁ギ環ッ子建サ学化合化工科管科生理後料応電子計薬産論エスエス場ー境ト計設材倫学化学学理学学)学学学化料 学学 コ コ ネ礎学テ制料工理 II 学 II 単 単 学) コ ネ で

大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき,自分の意見を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語 V 英語特講
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章 や言語作品を 的確に理解・鑑 賞でき、自分の 思いや主張を 適切に日本意 の談話や文る。 で表現できる。	国語 I	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し,解決 方法を探求して 問題乗性を認 の重要性を認 識できる.		物質工学実験 I	物質工学実験Ⅱ	プロジェクト演習	
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(生物工学実験 I) [材料工学実験 I] (生物工学コー ス) [材料工学コー ス]	(生物工学実験 Ⅱ) [材料工学実験 Ⅱ] (生物工学コー ス) [材料工学コー ス]
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理たてを調行所に客では、 一次を調けて、 一次を調けて、 一次を調け、 一次を調け、 一家の、 一家の、 一家の、 一家の、 の、 、 、 、 、 、 、 、 、					卒業研究
	3	身体・健康・スる 知識と実まるために応設に応設に応設に応じた。 かに応じまるの目標をあるででは、 が関係をできるいでは、 が関係をでいる。 が関係でいる。 が関係でいる。 が関係でいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	保健体育 I	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

1/2 5	具 ⊥.•	学科		224 644			学生	年別酉	记当			
			授業科目	単位種別	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	Ú	備 考
			数理統計学		2			2				
		-	応用数学		1				1			
		-	応用物理 I 応用物理 II	D	2			2	0			
		-	■ 応用物理Ⅱ 専門基礎Ⅰ	В	2	2			2			
		-	専門基礎Ⅱ		2	2						
			専門基礎Ⅲ		2	2						
			基礎工学概論	В	1				1			
		-	工業英語	В	1		,		1			
		-	分析化学 I 分析化学 II		1		1	1				
			機器分析		2			1	2			
		共	無機化学 I		2		2					
			無機化学Ⅱ		1			1				
		-	無機化学Ⅲ	_	1					1		
		-	基礎材料化学 有機化学 I		1 2		2		1			
		-	有機化学Ⅱ		2			2				
			高分子化学		1			1				
			有機合成化学		1					1	1	
		[物理化学Ⅰ		2			2				
yk M		通	物理化学Ⅱ *物理化学Ⅲ	В	2				2	0		
信 禾		-	* 物理化字Ⅲ 化学工学 I	В	2			2		2		
E			化学工学Ⅱ	В	2				2			
			*化学工学Ⅲ	В	2					2		
		[生化学 I		2			2				
			生化学Ⅱ		2				2			
		-	生命科学	_	1 2		2			1		
		-	情報化学 I *情報化学Ⅱ		2		2		2			
			品質管理		1					1		
			物質工学実験 I		5		5					
			物質工学実験 Ⅱ	С	4			4				
			卒業研究		8				0	8		
		生っ物	微生物学 食品科学	A A	2				2	2		
		コース	分子生物学	A	2					2		
			生物工学実験 I	С	4				4			
			生物工学実験Ⅱ	С	2					2	フーマロ	川に修得
		材	材料化学	A	2				2		すること	
		コー料		A A	2					2		
		スポース学	材料工学実験I	C	4				4	4		
		7	材料工学実験Ⅱ	C	2					2		
			修得単位計		81	6	12	19	22	22		
		共	*創薬化学		1					1		コース別に
道		通 ス学生	*食料生産工学概論 生理学	_	1					1	1単位以上	4単位(共
护		コ物 I エ			1					1	修得すること。	別開設単数の合計
禾		ス学材	応用電気化学		1					1	1単位以上	中2単位じ 上修得す
E	1	コ料	高分子材料設計		1					1	修得するこ と。	上修得すること。
			修得単位計	-1	2以上					2以上		J
	心修料日	プロ	ロジェクト演習		1				1			
		環	熱流体エネルギー概論	A	1			1				
		境・	電力エネルギー工学 電磁場エネルギー基礎	A A	1			1		1	2単位 以上修	
		_{**} 工	環境科学	A	1					1	得する	
		群ネ	環境保全工学	A	1				1	<u> </u>	تح الح	
22.5		ル	他大学等科目(学際)		2以内				2 L	以内		群
学際		情	ロボットシステム	A	1					1		別に
カ	選	報・	電子計測制御 情報·制御基礎	A A	1			1		1	2単位 以上修	修
リュ	択	制	コンピュータ化学	A	1			1	1		得する	得す
キュ	科目	御	空間情報工学	A	1			1			こと	する
ラ	-	群	他大学等科目(学際)		2以内				_	以内		ること
A		材	機械材料電気電子は料	A	1			1	1			논
		料	電気電子材料 センサ材料工学	A A	1			1		1	2単位 以上修	
		科	有機・高分子材料	A	1			1		1	得する	
		学群	建設材料	A	1					1	こと	
			他大学等科目(学際)		2以内					以内		
			修得単位計 修得単位計		2以上 3以上				2以上 3以上		ł	
							1	1	リンムエ		1	
修	得単位	立 合 計 要単位	学際カリキュラム除く		86以上	6	12	19以上		24以上		

^{*:}学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

物質工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上 (そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者 については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)と する。

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

物質工学科授業科目系統図(3~5年) 学習·教育目標 前期 後期 多様な文化や価値 観を認識できる能力を身に付ける. 数理統計学 → 応用数学 応用物理I 応用物理Ⅱ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ 情報化学 I 情報化学Ⅱ 品質管理 物理化学I 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 化学工学 I 化学工学Ⅱ 化学工学Ⅲ 無機化学 I 無機化学Ⅲ 無機化学Ⅱ 基礎材料化学 分析化学 I ▶ 分析化学 II 機器分析 専門基礎] 有機化学I 有機合成化学 高分子化学 創薬化学* 生命科学 生化学 I 牛化学Ⅱ RB 数学とその他の自 然科学、および専 門分野におけるも のづくり、環境づく りに関する基礎能 力を身に付ける。 基礎工学概論 食料生産工学概論 * 工業英語 【材料工学コース】 ▶ 反応工学 材料化学 → 材料工学 応用電気化学* 高分子材料設計* 【生物工学コース】 微生物学 分子生物学 ◆ 食品科学 生理学 * → 栄養化学* 熟漬体エネルギー板論 ➤ 電力エネルギー工学 → 環境保全工学 -● 電磁場エネルギー基礎 → 環境科学 情報·制御基礎 ➤ 空間情報工学 (学際カリキュラム) ■ コンピュータ化学 ロボットシステム * 電子計測制御 電気電子材料 → 有機·高分子材料 ▶ 機械材料 建設材料 → センサ材料工学 国際社会で活躍す 卒業研究 画际社会で治歴するためのコミュニケーション基礎能 力を身に付ける. 技術者に必要なデ 物質工学実験Ⅱ 物質工学実験 I プロジェクト演習 ザインマインドを身 に付ける. 材料工学実験 I 材料工学実験Ⅱ【材料工学コース】 実践的能力と論理 生物工学実験 I ★ 生物工学実験II 【生物工学コース】 的思考能力をを身 に付ける. 卒業研究

*:選択科目

令和7年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

環境都市工学科(1~2年)

	本科(準学士課程)										
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年				
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本の担保を理解し、様には 本理解し、様には を理解し、伝統を をでする。 での文化認識できる。	歴史 I 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語 II 第2外国語 II 言語文化特講 日本文学論				
価値観を認識できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を、認識・ 理解する意識 を持てる.	音楽	美術							
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 II	解析 II 数理統計学 応用物理 I 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講				
RB 要自よにつづる身 とそ科専けり、に能付 の境るの である。 他他、分も環関力	2	専門分野における 対称を基づい では、正しく できる。	専門基礎Ⅲ東門基礎Ⅲ	構造力学 I 測量計 建設材料学	プ構水性境用間都築二イエエ・・大学工工学学工工学学工工工制材を発売のでは、大学の大学の大学の大学の大学の大学では、大学工工学、大学工工学学画工の、、大学の大学の大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	構つ 水築築盤 通型 エンン 水築築盤 型工 ・	コ 建河 建建 木環地 メ ロデアセ先 地で構り学復川岸築築震情保都設築建値ナ学計学シェグ材子計災倫造ーⅡ合水工環設震構保都設築築値ナ学計学シェグ材子計災無量学構 材学学ⅢⅡ学工計規匠 析ス Ⅲ修デジ礎工材 工理学構 材学学ⅢⅡ学学画 エ ムニ礎学料 学造 料				

		1		ı			
	1	英語による基礎的な対話や 文章が理解でき、自分の意見 を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語V 英語特講
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文品を の文品を の文品を のでる。 のでき、主理 のでき、主 のでき、主 の でき、主 の で で で で で や に に の で で り で り で り で り で り で り で り で り で り	国語 I	国語 II	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法題解決 問重要性を認 できる.		環境都市工学設 計製図 I 環境都市工学実 験実習 I	計製図Ⅱ	環境都市工学設 計製図Ⅲ プロジェクト演習	環境都市工学設 計製図IV 環境都市工学設 計製図V
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較できるとができる。				環境都市工学実 験実習Ⅲ	構造デザイン
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける.	2	課理たし法験・ でをしい方実を のし、職のでというでは、 のは、職のができる。 では、でいるできる。 に、と、でいる。 では、でいる。 でい。 でいる。 でい					卒業研究
	3	身体・健に実す自じ定いできるのでしば、関係のでは、まずり、大きなのでは、は、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないできない。	保健体育 I	保健体育 Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

	格 業 利 F	単位	単位数		学生		配 当	Τ-	借
	授業科目	種別	甲位数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	備
	数理統計学	$\overline{}$	2	-	Ė	2	<u> </u>	†	<u> </u>
	応用数学	В	2				2]
	応用物理 I		2			2			
L	応用物理Ⅱ	В	2				2		
F	専門基礎I		2	2					
-	専門基礎Ⅱ		2	2				-	Į.
F	専門基礎Ⅲ プログラミング		2	2		1		-	
-	数値解析		1			1	1	1	•
-	構造力学 I	_	2		2		1	+	1
	構造力学Ⅱ		2			2			1
Ī	構造力学Ⅲ	В	2				2		1
	鋼構造学		2					2	
L	コンクリート構造学 I	В	2				2		
F	建設材料学		2		2				
-	水理学I		2			2	.	-	Į.
-	水理学Ⅱ 河川水文学	_	1				1	-	ŀ
-	地盤工学I	_	1			1		1	ł
-	地盤工学Ⅱ	В	2			1	2	-	
必	環境衛生工学		2			2		 	1
修 和	建築環境I	\neg	1			Ī	1		1
科 目	建築設備I		1				1		1
	測量学		2		2]
	応用測量学		1			1]
L	空間情報学		1			1			
L	環境都市計画論		1			1			
-	交通工学		2				2		
-	施工管理学 建設法規	А	2				2	1	ŀ
-	構造デザイン	_	1					1	ł
F	メンテナンス工学	_	1					1	
	建築計画I		1		1				
	建築計画Ⅱ	А	2			2		†	1
	環境都市工学設計製図I		2		2				1
	環境都市工学設計製図Ⅱ		2			2]
	環境都市工学設計製図Ⅲ		2				2		
-	環境都市工学設計製図IV		2					2	
-	環境都市工学実験実習I		2		2				
-	環境都市工学実験実習Ⅱ	C	2			2		<u> </u>	ł
-	環境都市工学実験実習Ⅲ 卒業研究	С	9			1	2	9	ł
-	修得単位計		77	6	11	21	22	17	1
	地震工学		1	0	11	21	22	1	
-	コンクリート構造学Ⅱ		1					1	•
Ī	地域都市計画		1					1	1
ſ	海岸工学		1					1]
	環境保全工学		1					1	1
-	建築史	_	1		 	1	<u> </u>	1	
	建築意匠 建築環境Ⅱ	-	1		 	1		1	14単位中6
}	建築泉境Ⅱ 建築設備Ⅱ	-	1		 	1		1	位以上修得
-			-		 	1	 	1	1
-	建築計画Ⅲ	A	2			<u> </u>	-	2	ł
-	環境都市工学設計製図V	_	1		1	1	1	1	1
-	木質構造学	_	1		 	<u> </u>	1	1	1
}	特別学修 修得単位計		1 6以上				 	1 6以上	1
必	プロジェクト演習		1				1	0%\T	t
修	数理・データサイエンス入門	_	1				1	 	1
科	修得単位計		2				2		1
	テクニカルドローイング	А	1			1			
	ロボットシステム		1					1	1
	電力エネルギー工学	A	1			1			1
選択	データエンジニアリング基礎	$-\!$	1		<u> </u>		<u> </u>	1	1
択	情報·制御基礎	A	1			1	ļ		10単位中1
· L	センサ材料工学		1			-	<u> </u>	1	位以上修得
科	分子•材料設計基礎	A	1		1	1	1	,	ł
科	生売して、計量に		1		1	1	1	1	ł
科目	先端分子•材料設計	_	- 1						
科目	#地盤防災工学		1				1	1	
科目	#地盤防災工学 他大学等科目(学際)		1				1 101 F		-
科目	#地盤防災工学		_				1 1以上 3以上	Į.	

- #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)
- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

環境都市工学科授業科目系統図(1~2年)

#	₩ 75 ± - '-	1年	2年	斗授業科日糸統図(1~2年) ┃ 3年	· ┃ 4年	5年
100 10	学習·教育目標	-		-		
1973年7日 19	RA 多様な文化や価値観を認 識できる能力を身に付け					
国際社会で活躍するため のコミュニケーション基礎 能力を身に付ける。 RD RD 技術者に必要なデザイン マインドを身に付ける。 RE 実践的能力と論理的思考 能力をを身に付ける。 「環境都市工学実験実習」 「電場都市工学実験実習」 「標道デザイン」 本業研究	数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	専門基礎Ⅲ	建設材料学 → 測量学 建築計画 I	応用物理 I → プログラミング → 構造力学 I ・ 地盤工学 I ・ 水理学 I ・ 水理学 I ・ 水理学 I ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 応用物理Ⅱ 数値解析 機造力学Ⅲ 地盤工学Ⅱ 水理学Ⅱ 交通工学 施工管理学 建築環境Ⅰ 建築設備Ⅰ 環境都市工学設計製図Ⅲ 数理・データ 	一
RD 技術者に必要なデザイン マインドを身に付ける. RE 実践的能力と論理的思考 能力をを身に付ける. 環境都市工学実験実習 I 環境都市工学実験実習 I 環境都市工学実験実習 I 環境都市工学実験実習 I 環境都市工学実験実習 I 環境都市工学実験実習 I 「環境都市工学実験実習 II 「環境都市工学実験実習 II 「環境都市工学実験実習 II 「環境都市工学実験実習 II 「環境都市工学実験実習 II 「環境都市工学実験実習 II 「アンドル A 「ないっと、これを表現の表現を表現の表現を表現の表現を表現の表現を表現の表現を表現の表現を表現の表現を表現します。 「ないっと、これを表現の表現を表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現しまする。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現します。」 「ないっと、これを表現しまする。」 「ないっと、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	RC 国際社会で活躍するため のコミュニケーション基礎 能力を身に付ける.					卒業研究
実践的能力と論理的思考 能力をを身に付ける.	RD 技術者に必要なデザイン マインドを身に付ける.				[
*: 選択科目	RE 実践的能力と論理的思考 能力をを身に付ける.				環境都市工学実験実習皿 ——	卒業研究

令和7年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

環境都市工学科 (3~5年)

				81/淮学十钾		果児即川工子/	本科(準学士課程)									
大項目		小項目	1年	2年	3年	4年	5年									
RA 多様な文化や	1	人間社会の基本を理解し、「言語ない」に認識でいる。	歴史 I 地理 I 地理 II	歴史 Ⅱ 公共社会 I	公共社会 II 公共社会 III	第2外国語 I	歴史学特講 哲学 第2外国語 II 第2外国語 II 言語文化特講 日本文学論									
価値観を認識 できる能力を 身に付ける.	2	様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした価 値観を, 認識・ 理解する を持てる.	音楽	美術												
	1	数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る.	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学 I 生物	解析 I 線形代数 物理 化学 Ⅱ	解析 Ⅱ 数理統計学 応用物理 Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講									
RB 数のお野の境すを 学自よにづづる身 の学うも環関力 が表にからい。 がある。 他・分も環関力	2	専門分野におけ技術報子という。 専門を表に基をのでは、正しく をきる。	専門基礎Ⅲ	構造力学 I 力量量 建設材料学 プログラミング	構建 地環 環熱 電 情空電有 造材理工管測市体一れ工制電高機 力料学学生量計れ論ギエエ制電高料 学学 I I 学画ル 一 礎学料材	構つ、水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コ 建河 建建建地 地 メ 建 電 口電 セエ鋼ク 設川海築築築地域建建建数テ 築特磁ギ環ッ子建サ学構リ学複水岸環設設防震都設築築値ナ学計別場一境ト計設材倫造一Ⅱ合文工境備備工学計規匠 析ス 画修ネ礎学示制料工理学構 材学学ⅡⅠⅡ学 画 エ ル ム御 学造 料									

	1	英語による基 礎的な対話や 文章が理解で き、自分の意見 を表現できる.	英語 I コミュニケーショ ン	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語V 英語特講
RC 国際社会で活 躍するための コミュニケー ション基礎能 力を身に付け る.	2	日本語の文章を や言語作解・鑑 賞でいい切いに できいでは の談話で で表記で で表記で で表記で で表記で で表記で で表記で で表記で で表	国語 I	国語Ⅱ	国語皿 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる.					卒業研究
RD 技術者に必 要なデザイン マインドを身 に付ける.	1	課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探決を 問題要性を 認できる.		計製図I	環境都市工学設計製図I環境都市工学実験実習II	環境都市工学設 計製図Ⅲ プロジェクト演習	環境都市工学設計製図IV環境都市工学設 計製図V
	1	実験・調査などてデータの解析 選を学び、理解を受び、理解を受び、理解 との比ができる。				環境都市工学実 験実習Ⅲ	構造デザイン
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付ける.	2	課理知知道選手 理知知道選手 をしたでという に本いて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 にいる。 でい。 でいる。 でい。					卒業研究
	3	身体・健に実するのでは、スる知を強に実するのでは、まずりにできるのでは、できるのでは、できるのでは、できるできる。できないできる。できないできる。	保健体育 I	保健体育 Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実 習	

(2)専門科目

		授 業 科 目		単位	単位数	1	学年別配当					
			A 木 TI H	種別	十四奴	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	triv	
		数	理統計学		2			2				
		応	用数学	В	2				2		1	
			用物理 I		2			2				
必修科目	ļ		用物理Ⅱ	В	2				2			
	ŀ		門基礎Ⅰ		2	2						
	ŀ		門基礎Ⅱ 門基礎Ⅲ		2	2					ŀ	
	ŀ		「7 茶碗III ログラミング		1	2	1	-			ł	
	ŀ		値解析		1		1			1	ł	
	ŀ		造力学 I		2		2			-	t	
	ı	構	造力学Ⅱ		2			2			İ	
	ĺ	構	造力学Ⅲ	В	2				2		1	
			構造学		2					2		
	ļ		クリート構造学 I	В	2				2		Į.	
	ļ		設材料学 I		1		1				ļ	
	ŀ		設材料学Ⅱ		1			1		,	ł	
	ŀ		設複合材料 理学 I		2			2		1	ł	
	ŀ		理学Ⅱ	A	2				2		ł	
	ŀ		川水文学	Α	1				- 4	1	ł	
	ŀ	地盤工学 I		A	2			2		-	t	
	ľ		盤工学Ⅱ	В	2			Ť	2		İ	
			境衛生工学		2			2			İ	
	Į		築環境 I		1				1		I	
		建築設備 I			1					1	•	
	ļ		量学		2		2				.	
	ļ	応用測量学			1		ļ	1		-	1	
	ŀ		境都市計画論	A	2			2			ļ	
	ŀ		通工学 工管理学		2				2		ł	
	ŀ		エミセナ 設法規	A	2				2	1	ł	
	ŀ		造デザイン		1					1	ł	
	ŀ		築計画 I		1		1			-	t	
	ı		築計画Ⅱ	А	2				2		t	
	ı		境都市工学設計製図 I		2		2				İ	
	ı	環	境都市工学設計製図Ⅱ		2			2			Ĭ	
		環	境都市工学設計製図Ⅲ		2				2		1	
			境都市工学設計製図IV		2					2	Į.	
			境都市工学実験実習I		2		2				Į.	
	ļ		境都市工学実験実習Ⅱ	С	2			2			Į.	
	ŀ		境都市工学実験実習Ⅲ	С	2				2		Į.	
	ŀ	44	業研究 修得単位計		9 79	6	11	20	23	9	ł	
	-	*	地盤防災工学	1	1	0	11	20	23	13		
	ŀ		地震工学		1					1	t	
	ı	*	コンクリート構造学Ⅱ		1					1	İ	
	ı	*	地域都市計画		1					1	t	
		*海岸工学			1					1	1	
選		*メンテナンス工学			1					1	14単位中4単 位以上修得	
択	ļ	建築史			1					1		
科目	ŀ	建築意匠 *建築環境Ⅱ		-	1		-	!		1		
П	ŀ	*建築設備Ⅱ		+	1		1	1		1	ł	
	ŀ	*建築設備Ⅱ *建築計画Ⅲ		Α.	2		-	!		2	 	
	ŀ	環境都市工学設計製図V		A	-		-	!		1		
	ŀ	環境都印工子設計級図 V 特別学修		-	1			!		1	ł	
	ŀ	10.	修得単位計	1	4以上		 	†		4以上	ł	
6	修科目	プ	ロジェクト演習		1			1	1	/		
T		環	熱流体エネルギー概論	А	1			1				
		_ゼ 境	電力エネルギー工学	A	1			1			2単位	群別
		1 .	電磁場エネルギー基礎	A	1			<u> </u>		1	以上修	
		群ネ	環境科学	A	1		<u> </u>	<u> </u>	-	1	得する こと	
, L		イ ル	環境保全工学 他大学等科目(学際)	A	2以内		-	 	1 21	以内		
é R	ŀ	情	世人子寺付口(子房) ロボットシステム	A	1		-	1	212	1	2単位	
7		1F 報	電子計測制御	A	1					1		Į.
1 3	選択	•	情報·制御基礎	A	1			1			以上修	1
٠,	択 科	制	コンピュータ化学	A	1				1		得さ 2単位 以上修 ること	-
	目	御群	空間情報工学	А	1			1		1.4		すること
		41-	他大学等科目(学際)		2以内			!		以内		
		材料	機械材料	A	1			-	1			
			電気電子材料 センサ材料工学	A	1		1	1		1		
		科	有機・高分子材料	A	1			1		1		
		学群	# 建設材料	A	1					1		
		at-	他大学等科目(学際)		2以内				2 L	以内		L
L			修得単位計		2以上				2以上			
- 1			修得単位計		3以上			<u> </u>	3以上			
_		合計	学際カリキュラム除。	-			•	20以上	LICO.	23以上		

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

環境都市工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

- (注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

環境都市工学科授業科目系統図(3~5年) 学習·教育目標 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 多様な文化や価値観を認 識できる能力を身に付け 専門基礎I 数理統計学 応用数学 応用物理I 応用物理Ⅱ 工学倫理 専門基礎Ⅲ **→** プログラミング ━▶ 数値解析 構造力学I 構造力学Ⅱ 構造力学Ⅲ 鋼構造学 地震工学* 地盤工学 I -▶ 地盤工学Ⅱ 地盤防災工学* 水理学 I - 水理学Ⅱ 河川水文学 海岸工学* 建設材料学I-建設材料学Ⅱ ■ コンクリート構造学 I コンクリート構造学Ⅱ* メンテナンス工学 建設複合材料 専門基礎 Ⅱ · 応用測量学 数学とその他の自然科 環境都市計画論 ▶ 地域都市計画* 学、および専門分野にお けるものづくり 環境づくり 施工管理学 → 建設法規 に関する基礎能力を身に 付ける. 環境衛生工学 建築環境I 建築環境Ⅱ* 建築設備 I 建築設備Ⅱ* 建築計画 I 建築計画Ⅲ* 建築計画 Ⅱ -建築意匠* 建築史* 環境都市工学設計製図 I ──→ 環境都市工学設計製図Ⅱ ──→ 環境都市工学設計製図Ⅲ -環境都市工学設計製図IV 環境都市工学設計製図V* 特別学修 熟流体エネルギー振論 ➡ 電力エネルギー工学 環境保全工学 ● 電磁場エネルギー基礎 ▶ 環境科学 (学際カリキュラム) 情報·制御基礎 ➤ 空間情報工学 ▶ ロボットシステム ▶ 電子計測制御 ▶ コンピュータ化学 電気電子材料 → 有機·高分子材料 ▶ 機械材料 ◆ 建設材料* ◆ センサ材料工学 国際社会で活躍するため 卒業研究 のコミュニケーション基礎 能力を身に付ける. 環境都市工学設計製図 I → 環境都市工学設計製図 II -「環境都市工学設計製図Ⅲ -環境都市工学設計製図IV 技術者に必要なデザイン プロジェクト演習 環境都市工学設計製図 V * マインドを身に付ける. 環境都市工学実験実習I 環境都市工学実験実習Ⅱ 環境都市工学実験実習Ⅲ 構造デザイン 実践的能力と論理的思考 能力をを身に付ける。 卒業研究

*:選択科目